患者さん向け

IgA腎症の症状（血尿・たんぱく尿など）



IgA腎症では、初期にはほとんど症状がありません。そのため、多くの患者さんは学校検尿や健康診断で「血尿」や「たんぱく尿」を指摘されて初めて病気が見つかります。

血尿には、顕微鏡でしか分からない「顕微鏡的血尿」と、尿が赤色やコーラ色に見える「肉眼的血尿」があります。IgA腎症では、風邪や扁桃炎などのあとに肉眼的血尿がみられることがあり、この病気の特徴の一つです。

たんぱく尿は、腎臓のフィルターが傷ついているサインです。たんぱく尿が多いほど、将来的に腎機能が低下しやすいことが分かっています。

病気が進行すると、「むくみ」「血圧上昇」「疲れやすさ」「腎機能低下」などの症状が現れることがあります。しかし、症状がないまま病気が進行することも少なくありません。

血尿やたんぱく尿が続いている場合は、症状がなくても定期的な検査を受けることが大切です。